

# デイサービス ひろがりナリ

第10号

発行日：2011年9月12日

発行回数：年2回発行

発行者：デイサービスひろがりサロン

責任者：藤平 洋子

連絡先：045-962-2226

活動場所：横浜市鴨志田地域ケアプラザ

2階多目的ホール

————活動概要————

活動日時 月曜日 10時～15時30分

料金 利用料 800円

食事 500円（昼食・おやつ）

その他 介護保険とは関係なく利用できます

このように思うこと

東日本大震災の被害に会われた方々にお見舞い申し上げます。又、自分は何もなくても親戚、友人が被害があつた方々も多いと思います。個人的なことでは、親戚の家が傾いてしまいましたが、怪我などの被害はありませんでした。

三月十一日、地震の時、鴨志田緑小学校でも児童が帰宅するのに混乱したとのことです。又、児童が家に帰つても家族が夜遅くまで帰つて来ることが出来なかつた人もいたそうです。

この様な時に、役立つのが地域近隣の助け合いであります。

遠くの親戚より近くの他人です。近頃では近所付き合いが少なくなり、近隣にどのような人が居るかわからなくなつてきていましたがお互いに程々の距離で付き

合うのが必要だと思います

今年から、自治会の役員を引き受け、どうしたら非常時に対応が出来るだろうかと考えますが、簡単には良い案が浮かびません。災害時には避難所も開設されるとと思いますが互いに見知った人同士ならばうまく運営できるでしようが何も知らない人同士では意思疎通がうまく行かず限られたことしか出来ないでしよう。

何かあつた時には互いに気をつけて「どうしましたか？」などと声を掛け合いましょう。



高山 好主

## 2011年度 活動予定

2011年/ 9/5, 12, 26

10/3, 10, 24, 31

11/7, 14, 28

12/5, 12, 26

2012年/ 1/9, 23, 30

2/7, 13, 27

3/5, 12, 26

## 私の出来る事

伊藤 節子

「月曜日は仕事お休み?」「時々交替で出勤もあるけど、お休み」「そう、良かつたら五百円持つてケアプラザに九時に来て!」詳しい話も聞かないまま、次の月曜日ケアプラザへ出かけました。いろいろな教室があるんだなあとキヨロキヨロ。なんとなく様子がわかつてきました。デイサービスのお手伝い?

「おはようございます」キッチンでは担当の方が昼食の用意、他のスタッフはテーブルを並べ涼しくさわやかな日、近隣の庭先の花を見たり、時々休んで話をしたり、母と散歩しているようで楽しかった。ケアプラザに帰るととても喜んで下さつて疲れたりお茶の用意。皆さん手際よい。私は何をしたら良いのかしら・・・。準備が出来たところで朝のミーティング。「今日からお手伝いさせていただきます」ちょっと緊張。十時を過ぎると利用される方々が一人又一人。午前中はお茶を飲みながら歓談、体操の後は昼食、献立もバラエティ。午後は散歩される方、将棋などを楽しむ方あり、ゆつ

くり過ごされる。三時のおやつを頂いて、お迎えの車が来ると「また来週」笑顔で帰られる。

後片付けの後は反省会。利用者さんの体調など気付いた点など報告。皆さん家族のように、心配されている。

帰宅後、私に出きるかしら、お話も得意でないし・・・。

少し悩みながら何回か参加していったある日、車椅子を押しながら散歩に出かけた。吹く風が

私は喜んでお供をした。私はとつての叔母とは、厳しい辛口のピアノの先生でもあった。仮病して休んだり、私の苦手な叔母でもあった。

お供をしたところは、両国の東京都慰靈堂。私には初めてだった。東京大空襲の時、この近くで保育の仕事を手伝っていたと話していた。当時の体験は想像を絶するに違いなく、私が当時の写真等を見ている間、叔母は人に尋ねたり、歩いて何かを確認している様だった。叔母の兄(私の父)が、電報を打ち、迎えに来てくれたとの話は私も父から聞いていなかった。父は叔母をとても可愛がっていた様だった。聞かなければ分らないもんだなあ、と和んだ。夕方、同

## 想いに寄り添う

若松 妙子

数年前、広島から叔母が上京し、私にある場所に付き合つてほしいと云われた。久しぶりの同窓会出席が目的だった様だが、私は喜んでお供をした。

私にとつての叔母とは、厳しい辛口のピアノの先生でもあった。仮病して休んだり、私の苦

叔母の上京にはある大きな意

志があつたのだろうと思つてい

る。私流の回想法の実践、と自

己満足したものです。

今八十四才の叔母は一人暮らしだが、時々電話をかけてくる。二十年後? 私も叔母と同じような体験が出来るだろうかと。思

い出を語れる場(人)あるつて幸

せだと思つています。



梅田 ひさ子

今日明日と眺むる景色かわらねど  
見つむる心の移りかはりて

折角に入れ歯作るも違和感を  
覚へてはづし又嵌める日々



## レストランでフレンチ

小椋 純子

五月二十三日、青葉台フォーラムのレストラン、ラ・パワーで外食会を行いました。このレストランを利用する時は、昨年に続き二度目です。

当日は、いつも通りケアプラザに十時に集合、体操もして一時三十分にタクシーに分乗して出かけました。

昨年と違う点は、タクシーの

他に、介護タクシーを二台利用したことです。介護タクシーは、車椅子に乗つたままリフトで乗降できるので、車椅子の方は乗り降りが楽だつたと思います。

一台に車椅子の方が二名、座席に七名、合計九名乗車できました。

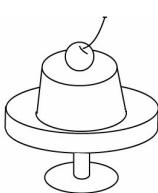
さて、お楽しみの料理は、サラダ、魚料理、肉料理、パンまたはライス、デザート、ドリンク

ク付きのコースです。皆さん、胸元をブローチで飾つたり、いつもより少しお洒落ないでたち、ピアノの生演奏もあり、どのテーブルも楽しい会話と笑顔に包まれて、華やいだ雰囲気のランチタイムでした。三十四名の参加者は皆、お腹も気分も大満足だつたことと思います。

この外食会、実は三月に計画していたのですが、東日本大震災の影響で延期し、二ヶ月遅れでようやく実現しました。

震災では多くの事が起き、被災された方々のことを思うと本当に胸が痛みます。そして命の重さ、家族、友だち、仲間の大切さを改めて知らされました。何もできない自分がもどかしいけれど、皆さんとの絆に感謝し、今を大事にしていこうと思いま

す。一日も早く日本が平和になりますように。



二回目の世界一周  
アフリカのAK47

高山 好主

今日はアフリカに関して、元朝日新聞記者の松本仁一さんのお話をありました。その話の中から書きます。

いわゆる先進国はアフリカ諸国に莫大な軍事援助をしています。その兵器の一部が民間に流れ出しています。

その代表例がAK47と言う小銃です。性能はそこそこですが一般的な兵士が使用する銃として充分な物です。軽くて扱いやす

# 竹の秋 竹の春

木村 孝

今年の桜の満開は、例年より約一週間遅く、四月十日頃でした。

その時季、恩田川を高瀬橋まで約二キロ歩きます。両岸から川の流れに覆いかぶさる桜は、それは本当に見事の一言です。

竹の子も桜と同じ例年よりやや遅く四月の上旬から、中旬頃に採れだしたようです。それは三月中旬から四月中旬にかけての低温と雨が降らなかつたのが原因と思われます。

すでに周りの木々は新緑に包まれています。五月の下旬頃になるとその新緑の中に、ところどころに竹の紅葉が始まります。

その後、七月下旬頃、親竹に新しい葉が芽ぶきます。この頃を竹の春といいます。

電車の利用は、子どもの国線で、電車の到着を待つ間、ホームから子どもの国の森を眺めます。それはすぐ分かります。緑一色のなか紅葉と言つても、綺麗な黄色ではなく、薄い茶色がところどころに現れます。

竹林の小道を散歩するのが好みで、子どもの国線恩田駅の向かい側の丘陵、子どもの国園内の外周道路をよく散策します。さて首題の竹の秋、とは五月中旬頃から六月にかけて、竹の子が親竹をしのぎ、十メートル余「孟宋竹」に生長した頃、親竹に落葉が始まります。それを

竹の秋と言います。でも若竹は親竹を凌ぐほどに成長しても、一年位までは若竹の節のすぐ下にはつきりと白いテープでも巻いたように一センチ位の線が入つており、親と子の見分けがつきます。

その後、八月頃、親竹に新しい葉が芽ぶきます。この頃を竹の春といいます。

「あおばふれあい助成金」「年末たすけあい配分金」「青葉区善意銀行配分金」を受給して活動をしています。

ホームページ は次のところにあります。

[http://aoba-portal.net/group/hirogari\\_salon/](http://aoba-portal.net/group/hirogari_salon/)  
(「ひろがりサロン」で検索しても見つかります。)

\* 編集後記 \*

\* 会報「ひろがりサロン」の十号が皆さんとの協力で出来ました。七月に発行する予定が一ヶ月以上遅れました。編集者の作業遅れでした。お詫びします。

\* 三月十一日の地震

当日、ケアプラザでもエレベーターが止まりました。ひろがりサロンを開催している時でなく我々は一安心でした。しかし、地震はいつ来るかわからないのでどのようにしたら良いか考えておきましょう。

(高山)